

平成27年
8月7日発行

No.85

ろくへの 議会だより

■編集／六戸町議会広報委員会

〒039-2392 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地60

TEL:0176-55-3111(代表) FAX:0176-55-3112

ホームページ <http://www.town.rokunohe.aomori.jp>

Eメール gikai@town.rokunohe.aomori.jp



議会ってどんなところ？

6月5日、開知小学校3年生の
児童16人が議場見学を
しました。初めて入る議場に、
子どもたちは緊張の表情を
見せていました。

【第3回定例会】

文化ホール照明設備新しく…………… 2

【一般質問】2人の議員が質問

教育問題・健康づくり…………… 4

【委員会紹介】

議会の構成が決まる…………… 6

【まちのためにがんばっている人】

町民の声 インタビュー…………… 8



文化ホール 照明設備 新しく 9879万円 可決

6月定例会

第3回定例会が6月5日から9日までの5日間の会期で開催されました。町長から提出された案件は、27年度補正予算、条例案件など10件あり、いずれも全会一致で承認・可決しました。
 一般質問には、2人の議員が登壇し、理事者側の考えをただしました。
 主な内容は次のとおりです。

補正予算

◇ 低所得者に臨時福祉給付金(1873万円)
 消費税の引き上げによる緩和策で、27年度中に1人につき6000円を支給します。該当するのは、住民税が課税されていない人(生活保護受給者や住民税で誰かの扶養である人は除く)です。

条例改正

◇ 低所得者の保険料を軽減 介護保険条例
 第1号被保険者の介護保険料が軽減されます。該当する人は①世帯全員が住民税非課税で、本人の年金収入などが80万円以下②生活保護を受給している、などです。

財産取得

◇ スクールバスの購入
 子どもたちのためにスクールバスを1台購入します。
 ・契約先 青森三菱ふそう自動車販売(株)
 ・金額 766万円

◇ 農業・農地の維持や保全を支援(1446万円)
 農業や農村のもつ多面的機能維持・発揮を図るための地域共同活動に対して支援します。

工事契約

◇ 文化ホールの舞台照明設備を改修
 文化ホールのステージや多目的ホールなどの照明設備を新しくします。
 ・契約先 丸茂電機(株)
 ・金額 9879万円

議員発議

◇ 米価暴落対策を求める意見書
 各常任委員会に付託した4件のうち、1件を採択・可決し、農林水産大臣へ提出しました。

◇ 町内会に支援(169万円)
 宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に対しての助成です。今回は、上町町内会が該当します。



事業名	繰越金	事業名	繰越金
総合戦略策定事業	938万円	六戸町農業振興地域整備計画策定業務	529万円
移住促進新築住宅建設補助事業	909万円	米・畑作物の収入減少影響緩和対策加入促進事業	245万円
福祉商品券給付事業	1081万円	プレミアム商品券発行支援事業	1468万円
六戸町児童館大規模改修工事管理業務	139万円	地場産品消費拡大事業	80万円
六戸町児童館大規模改修工事	4337万円	合計	9728万円

*繰越明許費とは 年度内に支払が終わらない見込みのあるものについては、議会の承認を経て、翌年度に繰り越して支払できることをいう。

◇ 町児童館大規模改修工事ほか8事業を繰り越し
 以上の事業を平成27年度に繰り越しました。

繰越明許*

審議内容

◇ 福祉商品券

高坂茂 議員

プレミアム商品券と同じ方法で購入できるのか。買うために条件があるか。

◇ 川村（星）福祉課長

購入するものではなく、対象世帯ごとに金額を決め、町から送付します。

◇ B-1グランプリin

十和田おもてなし事業

河野豊 議員

来場者の臨時駐車場及びシャトルバスの運行案内以外にも支援すべきでは

◇ 吉田町長

具体的には駐車場のことだけの支援だが、依頼があれば協力しながらやっていきたい。

◇ 文化ホールの舞台照

明設備改修工事

高坂茂 議員

何の不具合で改修するのか。使う側からすれば不具合を感じないが

◇ 川村（政）教育課長

照明設備は建設当時（平成5年築）からのもので、耐用年数の関係で改修工事を行うものです。

高坂茂 議員

この工事入札で、最低制限価格以下のために失格が出ている。最低制限価格制度は理解できるが、複数の業者から事前にプレゼンしてもらった上で金額設定をした方がよいのでは

◇ 保土澤副町長

議員の提案は「技術提案型入札制度」というもので他自治体でも実施しています。しかし、この方式は期間を要し、短期間で発注時期に限りがある今回は難しいため、従来の指名競争入札方式でやむを得なかったと思います。

人事案件

◇ 監査委員の選任

任期満了による監査委員（議会選出）に母良田昭氏が決まりました。

人事案件

◇ 固定資産評価審査委員（任期 3年）

佐藤 喜久男さん

（昭和20年生）小松ヶ丘2丁目77番地556



抱負
勉強して行政のためにがんばります。

固定資産評価委員とは…固定資産課税台帳に登録された価格に不服があるときに審査・決定する機関です。公平・中立な第三者機関として設置されています。

◇ 教育委員会委員（任期 4年）

松橋 一男さん

（昭和30年生）鶴喰字明堂24番地



抱負

子どもたちが楽しく有意義な学校生活を送れるように、精一杯務めさせていただきます。

教育委員会は…教育・文化・スポーツなどの行政を担当する執行機関です。六戸町は5人の委員で構成されています。

平成27年度各会計補正予算（全会一致で可決）

会計	補正前	補正額	補正後	補正の主な内容	
一般会計	53億9620万円	4977.5万円	54億4597.5万円	臨時福祉給付金給付事業費補助金	1873万円
				子育て世帯臨時特例給付金事業費補助金	619万円
				社会保障・税番号制度事業交付金	375万円
				多面的機能支払交付金事業補助金	1446万円
				繰越金	323万円
				B&G財団地域海洋センター修繕助成金	▲197万円
				コミュニティ助成事業交付金	169万円
				コミュニティ助成事業	169万円
				多面的機能支払交付金事業	1928万円
				B-1グランプリin十和田おもてなし事業実行委員会	80万円
歳出	53億9620万円	4977.5万円	54億4597.5万円	鶴喰八幡神社特殊高木再生維持事業	20万円
				海洋センター塗装工事(助成金対象外のため工事延期)	▲394万円

平成26年度各会計補正予算（いずれも町長が専決処分*し、議会で承認しました）

会計	補正前	補正額	補正後	補正の主な内容	
一般会計	52億2939万円	5685万円	52億8625万円	事業実績見込みの精査により	
				学校建設基金積立金	5020万円
				国保病院事業特別会計補助金	6350万円
国民健康保険事業特別会計	13億7243万円	△3007万円	13億4236万円	事業費の確定により減額	
国民健康保険病院事業特別会計	6億5289万円	6350万円	7億1639万円	平成26年度不良債務解消のため(一般会計より繰り入れ)	6350万円
霊園事業特別会計	959万円	△44万円	914万円	事業費の確定により減額	

*専決処分とは 議会の議決を必要とする事項であっても、町長が議会を招集する時間的余裕がない等の理由があれば、議会で代わって町長の権限で処理できる。(地方自治法第179条より)



高坂 茂 議員

教育問題など

開知小と大曲小の学区見直しは

地区住民の意見を伺い慎重に対応 — 教育長

教育長 開知小は平成28年度(12人)、30年度(17人)、31年度(10人)、32年度(17人)。大曲小は28年度(45人)、29年度(39人)、

問 平成28年度から平成32年度までの5年間の入学児童数の予測値は

教育長 これまでの歴史や経緯、地域住民の思いを考え、拙速に結論を出すことを控え、地域の意見を伺いながら対応したい。

問 人口減・少子化の時代、大曲小の児童数が増加、開知小が減少傾向にあるなか学区見直しの考えは

教育長 現在民間バス2台にてピストン輸送しており、今秋には、新規にバスを購入し、小松ヶ丘地区へ配車し、全児童が座って登下校できる環境とする。

問 大曲小のスクールバス運行状況は

教育長 開知小は28年度(5人)、30年度(2人)、31年度(11人)、32年度(4人)となり、大曲小は、従前の予測値よりこの分減するということとなります。

問 仮に学区変更で、たての台団地・通目木・柳沢・高森地区が開知小に編入した場合の数は

問 東奥日報に「肥満続く青森っ子」という記事が載っていた。

食育について



教育長 6名のスクールの協力のもと、事故のないよう対応しているが、今後は学校側と連絡を取りながら、対策を講じていきたい。

問 小松ヶ丘地区はスクールバス利用者がかなり多いが、児童の待機する停留所の安全対策は

町長 庁舎は築37年経過しており、この間エレベーター設置を検討してきた経緯がありますが、設置には防衛施設庁との協議等、解決する課題も多くあり、また財

問 役場庁舎内にエレベーターの設置の考えは

財源が大きな問題 — 町長

役場庁舎にエレベーターを

教育長 六戸町の小1年から小6年までは肥満について全国平

食育の大切さを教育の場で取り上げ、短命県返上においても重要なテーマであると思うが、食育の重要性についての考え

総務課長 防衛施設庁の許可が必要ですが、およそ4000万から6000万円くらい掛かる予想です。

問 設置経費はおよそどのくらいか

源の問題もあり、今後の検討課題としたい。

均を上回っており、中学校は逆に下回っています。これは、小学校での食育の取り組みが成果として表れているのでは。児童・生徒・保護者・教職員を対象とした、給食センター栄養教諭による学習会で食の指導をしている。

食育の大切さを教育の場で取り上げ、短命県返上においても重要なテーマであると思うが、食育の重要性についての考え



すぎやま しげ お 議員
杉山 茂夫

六戸町健康づくり宣言と ラジオ体操の普及について

全町的取組みを実施したい — 町長

問

「健康づくり宣言」は、ウォーキング、食生活改善、特定健診の3項目の普及を宣言している。

今年から町民が自主的に始めた朝のラジオ体操を宣言の項目に加え、「ラジオ体操の町」として推進しては

町長

「健康づくり宣言」は、平成19年に県内3番目に制定された。一定の成果が出ている。ラジオ体操は、いつでもどこでも気楽にでき、介護給付費や医療費の削減にもつながることから、今年度4月から町広報誌や官庁街の電光掲示板を活用し、ラジオ体操の実施を推進している。

今後関係機関と連携し全町的取組みをして参りたい。

また宣言に加えるかどうかは、町健康づくり推進協議会の意見を聞きながら、改正を含む検討をして参りたい。

問

ラジオ体操の普及に向けて、町ホームページの活用と夏季巡回ラジオ体操の実施は

福祉課長

ホームページに掲載する他、ラジオ体操普及会に



地域包括支援センター前でのラジオ体操

よる「正しいラジオ体操会」を今年も社会福祉協議会と共催し、包括支援センター前以外の地区でも実施に向けて呼びかけたい。

問

健康づくり宣言のウォーキング普及のため、町として年一回の事業を考えては

町長

奥入瀬川河川敷等の整備に合わせ、ウォーキングコースとして県に提案協議したい。

マイレージ・ポイント 事業に取り組みを

実施町村の

状況を見て検討 — 町長

問

少子高齢化に伴い、医療費や介護給付費の更なる増大が予測される。

そこで、歩こう会など健康推進事業に参加する町民にポイントを与え、特典が受けられる「マイレージ・ポイント事業」に取り組み考えはあるか

町長

最近、検診率アップや健康づくり推進のためにポイント制度を導入する自治体が増加している。当町では、検診時の朝食提供や自己負担の軽減、

農閑期の日曜検診など実施している。

特定健診の受診率が県内上位ではあるものの、若い世代の受診が少なく受診率が向上しないのが現状です。

今年度から健康ろくへ21第2次計画により各種事業を展開している。自分の健康は自分で守ることを基本に、健康づくり事業や介護予防事業への参加の動機づけとして健康ポイント事業は有効な施策の一つと認識し、実施町村の状況を見ながら検討して参りたい。

就任のあいさつ



議長
平尾 正孝



副議長
川村 重光

町民の皆様には、日頃より議会運営につきま
して、ご理解とご協力をいただき、心から感謝
申し上げます。

4月26日投票による改選後、初の臨時会に
よりまして、六戸町議会議長並びに副議長に選
出され、その要職に就くことになりました。誠
に身に余る光栄であり、同時に、その責任の重
さを痛感している次第でございます。

さて、このたびの一部議員の公選法違反によ
る不祥事により、町民の皆様をはじめ多くの関
係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたこ
とに、議会を代表いたしまして深くお詫び申し
上げます。今後は、議会一丸となって、政治倫
理の確立と議会の信頼回復のため努めてまいり
たいと考えております。

これからは、六戸町の発展と、町民とともに
歩む議会を目指し、最善の努力を尽くす決意で
ございます。

皆様方のご支援とご鞭撻を賜りますよう心か
らお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

委員会の紹介

町の予算や条例などは、議員全員が集まる本会議で
決められますが、本会議で決める前に詳しく審査をす
るのが委員会です。(任期 平成27年5月1日から平成
31年4月30日)

○ 総務常任委員会

総務課、企画財政課、
税務課、会計課、議事事
務局、教育委員会、選挙
管理委員会、監査委員事
務局の所管に属する事務
及び他の常任委員会に属
しない事務。

○ 産業民生常任委員会

産業課、建設下水道課、
町民課、福祉課、六戸町
国民健康保険病院、農業
委員会の所管する事務。

○ 議会広報委員会

町議会活動に関する審
議状況等を町民に周知し、
あわせて町議会に対する
町民の理解と認識を深め
るために発行する「ろく
のへ議会だより」の編集
・調査を行う。

○ 議会運営委員会

議会の運営・会議規則
に関する事項、委員会に
関する条例等に関する事
項、議長の諮問に関する
事項の調査及び議案、請
願等の審査。



総務常任委員会

- 委員長 河野 豊
- 副委員長 杉山 茂夫
- 委員 苫米地 繁雄
- 委員 山本 実
- 委員 久田 伸一
- 委員 種市 正孝

- 委員長 高坂 茂
- 副委員長 母良田 昭
- 委員 円子 徳通
- 委員 川村 重光
- 委員 下田 敏美



産業民生常任委員会

- 委員長 杉山 茂夫
- 副委員長 種市 正孝
- 委員 母良田 昭
- 委員 河野 豊
- 委員 川村 重光
- 委員 高坂 茂



議会広報委員会

※新議員の詳しい紹介に
ついては町ホームページ
をご覧ください。

■ 議員 辞職 ■

金崎盛三議員から、7
月28日付けで議員辞職願
が弁護士との代理人を通じ
提出され、急ぎよ、円子
議長が全員による緊急会
議を開き、7月29日付け
で議員辞職を許可しまし
た。

県内No.1 議会を目指して

～議会基本条例制定後の課題を学ぶ～



6月25日、議員研修を行い、議会基本条例の制定後に出る課題と先進事例について学びました。
 青森中央学院大学経営法学部准教授の佐藤淳氏を講師に迎え、3回目の研修になります。
 円子徳通議長は「わが町議会も条例を制定して終わりの、いわゆる「したふり議会」にならないよう、議会改革を継続しなければ」と決意を見せていました。
 議会基本条例を作ったものの、作っただけで終わらせないために、どうすべきかの確かなアドバイスを受けました。

県の重点施策を現職知事から学ぶ

～県下町村議会議員研修会～



7月9日、青森市で県下町村議会議員研修会が行われました。青森県知事三村申吾氏を講師に迎え、平成28年度の重点施策について学びました。
 施策の中で特に、三村知事は少子化対策として、結婚・出産・子育てを切れ目なく支援する社会の実現に向けて対策を講じると話していました。
 講演中、三村知事の軽快な話術は会場を盛り上げていました。

まちの将来がわかる
議会傍聴

どうですか？

次回は9月に定例会があります。詳しくはこちらまで
 議会事務局 ☎55-4547(直通)

議会のスケジュール(27年3月～5月)

3月

- 2日 議会運営委員会
- 議会総務常任委員会
- 議会産業民生常任委員会
- 6日 第1回3月定例会開催(～12日)
- 10日 予算特別委員会(一般会計)
- 11日 予算特別委員会(特別会計)
- 12日 議会広報委員会
- 13日 六戸町観光協会総会
- 30日 議会広報委員会

4月

- 6日 春の交通安全総決起大会
- 7日 議会広報委員会
- 10日 議会広報委員会
- 25日 館野公園山開き
- 26日 町議会議員一般選挙
- 27日 町議会議員一般選挙当選証書付与式
町議会議員事務連絡会

5月

- 7日 臨時議会・組織会
- 8日 六戸町戦没者追悼会
- 9日 交通安全祈願
- 22日 上北郡町村議会議長会定例会
こども園えがお落成式
町交通安全協会総会
- 26日 第40回全国町村議会議長・副議長研修会

町民の声

まちのために
がんばっている人

町民の皆さんが六戸町のためにがんばっている。その中で、様々な分野からピックアップしてご紹介いたします。今回は、佐藤武夫さんにお話を伺いました。

イベント成功の鍵は 楽しむこと

佐藤 武夫さん



プロフィール
さとう・たけお。押込地区在住。
今年1月においらせ町で開催された「新春！うそ八百・ほら吹き大会」で優勝。同年6月、大鱈町で行われた「万国ホラ吹き大会」では最高位の仙人に輝く。さらに、2年前からメイプルタウンフェスタ実行委員長に就任。今秋開催に向けて尽力している。

故郷を離れ、 見たこと

「以前は自衛官として全国各地に住んでいたのですが、その分、六戸の郷土に対する思い入れも強かったのでは？」

佐藤：昭和46年に入隊し、53年に六戸に戻ってくるまでいろいろな場所を赴任しました。六戸にいなかった10年間を町のためにも思ってイベントや行事に参加してきました。

「遠方から地元・六戸に帰ってきて、六戸のいい所、悪い所が見えたと思えますが、どんなことに気づきましたか？」

佐藤：六戸は交通の便がよく、災害がない。これって一番だよ。雪がたたくさん降るわけではなく、雨もその通り。(農作物も)何でも取れるし、不自由がない町だね。だからか、六戸の人は「のんびり屋」が多いと思う。

おいらせ町で行なわれたほら吹き大会のもの。会場内は観客の笑い声と佐藤さんのユーモアで溢れていた。(写真提供：おいらせ町役場総務課)



六戸に「ほら吹き大会」があったら

「数々のほら吹き大会の優勝、おめでとうございます。もし、六戸にほら吹き大会があったら、どんな「ほら」を吹きますか？」

佐藤：いっぱいできますよ。六戸は何でもある。山あり、川あり、大地あり。この三拍子そろったらたくさんネタができますよ。例えば：、山だったら吉田山だよ。その吉田山に大きい塔、太陽の塔みたいなね。でつかいやつね。新幹線からも見えて、「なんだこりゃー！」って(笑)。

町民の皆さんへ メッセージ

「最後に、町民の皆さんに何か一言ありますか？」

佐藤：どんどん町のイベントに参加してほしいですね。メイプルタウンフェスタに限らず、秋まつりでもなんでも。見てるだけでも楽しいけど、やってみるともっと楽しいですから！

聞き手 杉山委員長
種市副委員長

編集後記

広報委員会では、6月議会定例会終了後、委員会構成や議会審議の記事執筆と町民の声インタビュー等の作業を経て、7月9日に「ろくのへ議会だより」の編集作業を終えました。直ちに、17日の発行に向けて印刷すべく取り組んでいた矢先に、議員の選挙違反事件が報道され、記事の構成や内容について精査をさせていただきました。

町民の皆様には、「ろくのへ議会だより」の発行が遅れたことに対し、改めておわび申し上げます。

今後も「町民と議会のキャッチボール」を基本に「より良い紙面づくり」を心がけ、より一層の議会情報公開に努めるべく、さらなる議会改革に取り組んで参る所存です。

町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げて、編集後記と致します。

議会広報委員会

委員長 杉山 茂夫
副委員長 種市 正孝
委員 母良田 昭
川野 豊
河村 重光
高坂 茂

発行責任者

議長 円子 徳通